

平成28年度中野区立中学校
教育環境および施設・設備の
改善要望書

中野区立中学校 PTA 連合会

平成28年7月吉日
中野区立中学校PTA 連合会
会長 荻野 嘉彦

中野区立中学校の教育環境および施設・設備の改善に関する要望

日ごろより、中野区立中学校PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、これまでの私たちの要望書に対し、毎年、真摯に受け止めていただき、一つ一つ徐々に実現されていることに感謝申し上げます。

今年度も区立中学校11校のPTA会長が全校学校訪問を実施し、各校PTAや身の回りの課題を掘り下げ、教職員の意見も参考にし、また自身の経験から感じたものを、連合会内で議論をし、改善すべきところを要望書としてまとめました。よろしくご検討をいただきたいと思います。

大きな動きとして、区立小中学校は再編計画の中で様変わりをしてゆきますが、そこで学ぶすべての中野区の子どもたちが、良好な環境の中で、十分な教育を受けることのできるよう、統合の成果を確実に実現していただくようお願いいたします。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたり、子どもたちは身近で開催される一大イベントへの期待に胸を膨らませ、また、未来の可能性を感じていることと思います。「思ったことが現実になる」…区歌の一節を体現するような、希望の持てる育成環境が整うことを私たちは望みます。

目 次

〔一〕 教育環境の充実について

1. 区立学校の再編について 1～2
2. 特別支援教育について 2～3
3. 教育相談室等の機能強化について 3～4
4. 学校図書館の充実について 4～5
5. 部活動の充実について 6
6. プール補助員・学習指導支援員等の配置について 6

〔二〕 学校施設・設備の改善について

1. 生徒に健康被害及び危険をもたらす恐れのある施設、
また授業に影響を及ぼす設備の改善について 7～9
2. 大規模な予算を必要とすると思われる施設について 10～11
3. ICT 機器の活用について 11～12
4. 各校の要望事項について 11
添付資料 14～15

〔一〕 教育環境の充実について

新学習指導要領の理念である「生きる力」を育むことは、教育の目的ということに留まらず、すべての大人たちの願いでもあります。

子どもたちが笑顔にあふれ、心身ともにすくすくと成長していける環境をつくるのが大切です。

そのためには、子どもたちが長時間過ごす、学校教育環境の充実こそが最重要課題であると考えます。

次代を担う子どもたちこそ、社会の宝であり最大の財産です。自らを律し、また、異なる個性を互いに認め合うことのできる自立した人間の育成を目指し、私たちは特に以下の点を要望いたします。

1. 区立学校の再編について・・・・・・・・・・・・・・・・

区立中学校の再編は平成20年度の緑野中学校開校から始まり、前期計画では三校の統合が成り、その間PTAとしても子どもの育成環境向上のための意見を述べてきました。

第2次計画では平成30年度の第三中学校と第十中学校、平成33年度の第四中学校と第八中学校の統合が予定されています。すでに昨年度より第三・第十の学校統合委員会が設置され、統合に向け着々と手続きを進め、各方面の認識を形成しているところです。

また、施設整備方法において大規模改修であったものは改築となり、仮校舎の整備については必要な施設設備や不具合箇所の修繕について前倒しの工事を実施することなど、ハード面での向上が期待されることは朗報です。

区立小中学校の再編は区民から注目されており、私たちPTAだけでなく地域や将来の生徒・保護者も、学校が建て替わったり移転することで生活の場がどのように変化するのか、無関心ではられません。再編計画や校舎整備は何よりそこで過ごす子どもたち・学校関係者のためであることは、強調したいところです。

統合までの長い年月に培った、様々な様態の生徒への、各校の特色あるケア、例えば帰国生徒の受け入れをする際、日本語での学習に課題のある生徒への個別的な対応をしてきたことなど、プラスに働いてきた伝統は丁

寧に汲み取って、統合新校に受け継いでいただきたいと思います。

学区域の地域性を基に、ソフト・ハードともにこれからの時代に向け、統合により前進したと感じられる育成環境が提供されることを望みます。

- ◇前期再編の課題を踏まえ、開校後・新校舎完成まで、統合委員会などによる丁寧なフォローを
- ◇小中連携や地域性に配慮し、「再編は子どもと学校のため」を最優先に考えた正確かつ十分な情報の発信を
- ◇併設施設の計画にあたっては、当該校生徒の育成に資するものの検討を
- ◇中野中学校校舎の運用を検証し、今後続く校舎改築を見据え、運動施設や設備機器の配置など、標準仕様の弾力的な適用を
- ◇施設や支援に不自由を感じる様々な様態の生徒に対応する、少人数教室・特別教室等の十分な確保を
- ◇ICT機器運用への対応など、高機能化の発展余地を考慮した施設仕様の検討を

2. 特別支援教育について・・・・・・・・・・・・・・・・

「特別支援教育」について、どれだけの方が内容を理解できているでしょうか。世間の特別支援に対する関心、理解、認知が足りず、特別支援＝(イコール)病気という偏見により、支援を必要とする子どもと、課題のある子どもを通常学級に通わせている保護者は、苦しい日々を送っています。これらを解決しないと、改善は一向に進みません。そのためには学校の先生方に頼るだけでなく、専門的な立場の方から、保護者に伝える機会が必要不可欠です。生徒も「特別支援」を知ることにより、支援の必要な人や課題のある人を拒絶するのではなく、寄り添ってサポートできる人に成長してくれるのではないのでしょうか。

そして、子どもを知るためのアンケート実施や、教育相談をもっと気軽に受けられるようなアピールを、広く保護者（区民）にしてほしいと考えます。

通級指導学級は、支援を必要とする生徒全員が入級する権利がありますが、現在満員状態になっています。早期の通級指導学級の設置校拡大と、通学日数の増加（午前のみ、午後のみなどの弾力的な時間設定）も検討していただきたいと思います。

さらに、インクルーシブ教育の推進により、肢体不自由の子どもだけでなく、発達障害と思われる子どもも交く通常学級に在中で、そうした子どもを介助する介助員を中学校においても措置していただくことをお願いいたします。

また、小学校から中学校に上がる際には、課題のある子ども、苦手が顕著に表れている子どもやその保護者を対象に、中学校や教育センターと相談や面談をする機会を設けていただきたいと思います。併わせて、中学三年生の進路相談の際には、特別支援に理解がある高校やサポート体制が充実している高校などの情報が提供できるよう、区としても情報収集、情報提供に力を入れていただきたいと思います。

同時に、専門家の協力を得て、教員の指導力向上のための研修制度を教育委員会としてつくっていただきたいと思います。就学相談、進路相談などで学校の先生から言われただけでは素直に理解できない保護者も、専門家の立場から特別支援学級や特別支援学校のメリットが理解できれば、子どもたちの幸せにつながると考えます。

- ◇特別支援に関する保護者への説明の充実、専門家からのアプローチを
- ◇生徒が「特別支援（教育）」について理解を深めるためのツールや機会の充実を
- ◇通級や固定級への接続を目的としない相談やアンケートの実施を
- ◇設置予定の情緒障害通級指導学級の早期の設置、更に通級指導学級の日数の増加を
- ◇中学校においても介助員の配置を
- ◇小学校から中学校への就学相談の徹底・充実を
- ◇支援が必要な生徒への進路相談の実現を
- ◇教員への専門家によるサポートの充実を(進路指導、啓発)

3. 教育相談室等の機能強化について・・・・・・・・・・・・・・・・

現在の子どもたちは、不登校やいじめなどの注目されがちな課題だけでなく、そこに至らず一人で抱えてしまうような個々の悩みや不安も多く持っています。

教員と協力して子どもたちを支える保護者として、子どもたちの心の受け皿となる、人を含めた環境の整備、拡充を強く望みます。

今年度の中 P 連アンケートの結果では、教育相談室の電話が全校に設置されたことが確認できました。ありがとうございました。

しかしながら、直通回線が 4 校から 2 校に減少しています。

子どもたちに寄り添う大人は、まず、家族であり、次いで学校、地域と広がっていきます。子どもたちは、「近いがゆえに相談できない。」、「信頼している、大切に思っている相手だからこそ、自分が悩んでいることを示せない、相談できない」こともあります。また、保護者においても、思春期の子ども、一人一人違う子どもたちと向き合う上で、親だけでは解決できない悩みを抱えています。

匿名で対応してくださる行政や一般の相談窓口もありますが、まずは、身近な学校に、匿名性を保ち、相談できる窓口を確保していただきたいと考えます。

現代の多様な課題に向き合う子どもたちを支える手段の一つとして、以下の整備を要望いたします。

- ◇校内相談室電話の、外線が着信可能な独立回線化を
～身近な学校に、周囲に相談していることを知られることなく相談できる窓口を
- ◇心の相談員の時間数の増加と、人材確保、発掘を
～必要な「今」相談できる、環境を。的確に対応してくれる人材を
- ◇スクールカウンセラー制度の継続を
- ◇適応指導教室の維持と、教職員を増やすなどの拡充を
- ◇不登校生徒の在籍校への復帰にむけた、当該校と適応指導教室とのより密接な連携を
- ◇現存する通級指導学級との連携強化を
- ◇現代の生活環境、コミュニケーション手段に対応した、相談窓口の拡充、周知を

4. 学校図書館の充実について・・・・・・・・・・・・・・・・

学校図書館は、生徒の成長過程において最も身近な図書館であり、自由に手にとって好きな本に出会いそこから、「調べる楽しみ」や「知る喜び」を学ぶ場所であります。

また、校内における図書館は、心の居場所としての役割も担っている重

要な空間といえるでしょう。

中野区は図書館指導員を早くから制度化しており、学校図書館図書標準についても、高い達成率を確保しております。今後も更に図書館の充実に向けたより一層の取り組みを期待し、また要望します。

学校司書としての図書館指導員は、学校現場で生徒と対面し教育活動に携わるという大事な役割を担っておりますので、専門性の確保のために一定の採用基準と併せて、水準確保のための研修の充実を図る取り組みが必要であると考えます。

更に学校側のニーズに応じた勤務日数や勤務時間の増加など勤務体制の弾力化あるいは拡充を望みます。

区内統一した管理システムを導入し、蔵書管理、カウンター業務、データベース化など図書業務の効率化を進める必要があります。

更に図書館資料の活用促進のため、区立図書館や各学校間の図書館をつなぐネットワーク、相互貸し出し等を円滑に進めるための一元化システムの構築が必要と考えます。特に学校教育関係の蔵書を有する学校間の相互貸し出しの円滑化は、現場からの要望の声も高く、また、長期的には費用削減に貢献するものと考えます。

蔵書については、図書標準の達成だけではなく、最新の情報にふれるために、区において明文化された廃棄基準を各校へ示し、適切な廃棄と更新が重要であると考えます。

また、蔵書数確保のためには、収納率の高い、また可動式棚のある機能的書架の設置導入の検討をしていただきたいと考えます。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、政治的教養、いわゆる「主権者教育」を育む教育の推進がますます重要となることから、新聞の配備のための財政措置を検討いただきたい。更に多様な意見に触れる機会の確保という観点から、複数紙の配備を要望します。

◇図書館指導員の勤務体制の拡充と弾力的運営を

◇蔵書管理上必要不可欠な管理システムとパソコンの更新、更に将来を見据えた図書館システムの一元化の推進を

◇地域及び学校図書館間における相互貸し出しルートの確保を

◇区において明文化された図書廃棄基準を

◇蔵書数を増やすために手狭な学校図書館には、高収納かつ機能的な書架の設置を

◇複数新聞紙の配備をするための財政確保を

5. 部活動の充実について・・・・・・・・・・・・・・・・

学習指導要領の中に「地域や学校の実態に応じ、スポーツや文化及び科学等にわたる指導者など地域の人々の協力、体育館や公民館などの社会教育施設や地域のスポーツクラブといった社会教育関係団体などの各種団体との連携などの運営上の工夫を行うとの配慮事項がそれぞれ規定された」と示されてあります。

部活動は、この時期にしか学べない真剣勝負や団結力、集団行動または己との闘いの中で育まれる健全な心身や、良好な人間関係をつくるための大切な教育の場であると考えます。

また、その活動は、顧問の先生と外部指導員のボランティアで成り立っています。行政として部活動を推進していく姿勢を明確に示し、必要な備品用具等の経費補助と、外部指導員の不足等の改善をお願い致します。

- ◇外部指導員の補てん、充実を
- ◇部活動に必要な備品、用具等の十分な経費の補助を
- ◇公共施設（防災公園等）の区立中学校への部活動優先利用を

6. プール補助員・学習指導支援員等の配置について・・・・・・・・

中学校のプール授業において、安全確保のために監視員を3人配置するよう指導されていると聞いています。しかし、現在の各学校の教職員数を鑑みるに、3人を常時配置するには教職員の負担が大きいのと思われます。

また、それを補うためではないかもしれませんが、各校に週3日の学習指導支援員を配置いただいております。しかしながら、それでもまだ「監視員3人配置」という指導に対する教職員の負担軽減となっていないのが実状です。プール授業の視点では子どもたちの安全確保のため、新たなプール補助員の配置を。また、教職員の個人負担軽減のために、学習指導支援員を週5日に拡充されるよう、お願いいたします。

- ◇学習指導員支援の週5日への配置拡充を
- ◇子どもたちの安全を確保するために、各中学校に十分なプール補助員の配置を

〔二〕 学校施設・設備の改善について

毎年実施している区立中学校 11 校の学校視察を実施し、未だ改善されていない危険箇所や、教育設備の不足が確認されました。

老朽化・経年劣化によって命にかかわる事故・ケガの恐れのあるもの、健康被害が懸念されるもの、教育環境に支障をきたすもの、当初の目的を果たさなくなっているもの、立地環境によるもの、計画的な維持補修がなされていないために悪化し機能不全になっているもの等、多数あります。

一日の多くの時間を学校で過ごす子どもたちが、安全且つ安心して学校生活を送れるよう、不都合な学校施設・設備の原因究明の調査と改善について、早急かつ継続的な対応をお願いいたします。

特に屋上の防水工事や外壁・鉄部の塗装に関しては、一時的な部分補修はされているものの根本的な解決には至っておらず、結果的に、より大規模な修繕工事を必要とする状況になっているのが実状です。長期修繕計画の策定が急務であると考えます。また、設備改修の実施に当たっては、学校側の細かなニーズも的確に反映できるよう、当該校への改修内容の事前説明や意識合わせ等の配慮をお願いします。

1. 生徒に健康被害及び危険をもたらす恐れのある施設、 また学校生活に影響を及ぼす設備の改善について……………

① カビによる健康被害

漏水はカビの発生する大きな原因です。生徒たちが毎日学習する教室のカビの発生は健康被害をもたらす要因となります。早期の対応をお願いします。



↑天井ボードに見られる漏水の痕跡。各所で確認

② 地震、または経年劣化が原因の危険箇所

大地震や地盤沈下、経年劣化が原因の不具合箇所も多数確認。
コンクリートの剥離による人てき人身被害のおそれ、地盤沈下による不陸箇所は転倒事故の危険性あり。



↑さまざまなタイプのクラックが発生
コンクリート片の剥離の危険



↑地盤沈下?による段差。転倒の恐れ



↑非常階段の傾き。避難通路として不安や危険



↑防火シャッターの老朽化による誤作動が発生

③ その他の設備の不具合



↑屋上に設置されている救助袋。しかし屋上へ
出る扉が施錠されているため緊急時使用不可

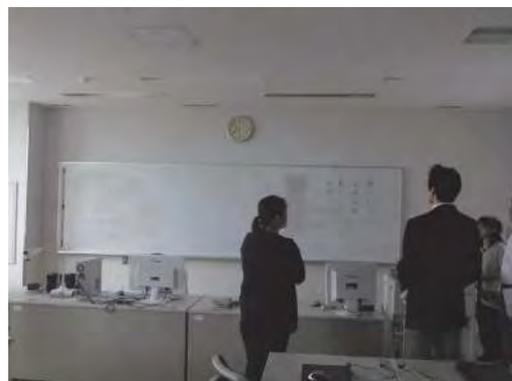


↑屋上に出る扉が老朽の為開閉できず
避難通路として役に立たない

④ 授業や学校生活に支障をきたす設備の不備



↑各校各所に段差があり、応急的な処置がされている



↑汚れの残るホワイトボード
素材が原因？



↑プールの排水管からの漏水があり、天井内にホースを入れ排水



↑和式便器のみのトイレが未だに存在

- ◇各校要望をもとにした危険箇所の専門家による詳細な調査及び改修を
- ◇避難通路、防火扉等防災上の不備な箇所の全数点検及び見直しを
- ◇老朽化したトイレの改修及び各トイレに1台は洋式トイレの配備を
- ◇各教室の冷房化のスピードアップを
- ◇全学校のバリアフリー化の推進を

2. 大規模な予算を必要とすると思われる施設について・・・・・・・・

① 雨漏れ対策

雨漏れ対応に悩んでいる学校が多く、屋上の防水処理の劣化によるものや、校舎間の渡り通路の繋ぎ目からのものも多く見受けられます。

中には天井照明の近くに雨漏れ跡が見受けられる学校もあり、場合によっては漏電による感電や出火の危険も懸念されます。



↑ こういった建物のつなぎ目からの漏水箇所も多くみられる



↑ 屋上の補修跡。ガムテープで補修

② 非常階段、屋上金網の錆・腐食対策

緊急時に利用する非常階段や屋上の金網フェンスに塗料剥がれや錆による腐食が多く見受けられます。また、地盤の変化や地震等の影響と思われる非常階段の段差や校舎建物との空間が広がっており、バランスの取れていない設備を使っでの避難は二次災害を誘発する恐れも含んでいます。



↑ フェンスの下の外壁の汚れは錆汁によるもの



↑ ポロポロと塗膜片が剥がれ落ちる防火扉



↑非常階段の錆による腐食は避難通路として使えるのか強度的に不安



↑屋上フェンスの錆は脱落の危険も！

◇雨漏れに対する早急な原因究明と対策を

◇学校設備の維持・管理に対し、計画的かつ継続的なメンテナンスと予算確保を

3. ICT機器の活用について・・・・・・・・・・・・・・・・

中野区教育ビジョン（2次）における区立中学校でのICT環境の整備推進により、区立中学11校の環境整備も進んで参りました。

現在、各校にはLAN環境が整備され、教員に一人一台の校務用パソコンが配布されました。またICT支援員を派遣いただき、教員のICTスキルも高まりを見せています。しかし、恒常的にICTを日々の教育に取り入れていくためには、更なる環境整備が必要と考えます。

① 授業用パソコンの不足

校務用のパソコンはネットワークとデータを授業用には共用できないため、授業でパソコンを使用するためにはその都度、教員がパソコン教室のパソコンを持ち運びセッティングを行っているのが現状です。そのためセッティング作業による時間的なロス、日次で教材のインストールを強いられる時間的なロス（パソコン教室の機器の仕様により、日々保存データのクリーンアップが行われるため）が生じ、子どもと向き合う貴重な時間が失われています。

② 大型モニター、プロジェクター、電子黒板等の不足

設置台数は増えているものの、学習指導要領にある少人数教育を行う上では必要な台数が揃っていないのが実状です。そのため、同環境で少人数教育が行えない等の不均衡が生じています。

③ デジタル教材やタブレット端末を導入しやすい環境創り

他の自治体においてはデジタル教科書の導入や、アクティブ・ラーニング等の主体的学習の必要性においてタブレット端末の活用なども既に推進されています。区立中学校において、その推進の障壁となっているのが、導入されている各種 ICT 機器の仕様の問題です。インターネットアクセスにおける各種制限や ICT 機器へのデータ保存制限がそれにあたります。これにより「無償で提供されているデジタル教材を取り込めない」「観察記録の保存や体育授業における動画保存ができない」など導入されているデジタル機器を有効に活用できない環境となっています。中学校に先んじて、小学校に導入されたタブレット端末の利用率の低さもこうした使用環境に起因するものと思われる。

◇各教室に1台授業用パソコンの設置、またはパソコン教室のパソコン仕様の見直しを

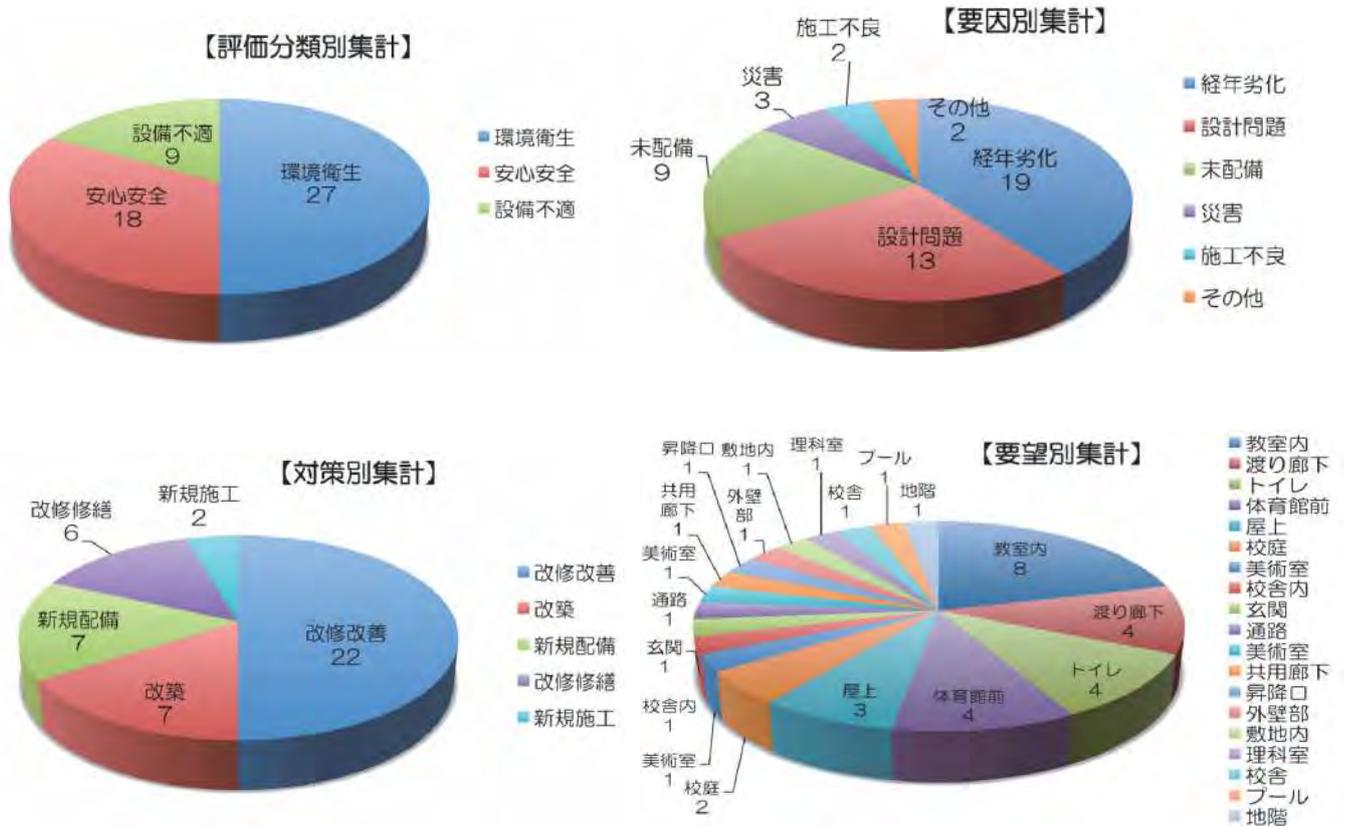
◇少人数制授業を公平に行える大型モニター、プロジェクター、電子黒板の台数設置を

◇デジタル教材、タブレット端末を利用した授業ができる環境を

◇引き続き ICT 支援員の派遣を

4. 各校の要望事項について・・・・・・・・・・・・・・・・

※ 14 ページからの添付資料の表を参照



私たちの要望は、『あったらいいね』という贅沢なものではなく、なくてはならない必要な事柄だけです。

添付資料：各校の要望の一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・

中学校	No.	要望事項	要望の理由	評価分類	要因	対策	要望箇所
第二中	1	美術室の床の修繕	床に凸凹箇所があり、作業をするにあたって大変危険な状態です。安全に作業できる平らな床への修繕を希望します。	安心安全 設備不適	施工不良	改修改善	美術室
第二中	2	屋上の鉄柵の修繕	屋上の鉄柵が老朽化にともない至る所で錆びており、大地震等の災害時では危険な状態になることが想定されます。また、周年行事も控えており景観の点からでも修繕をお願いします。	安心安全 設備不適	経年劣化	改修改善	屋上
第二中	3	校舎内の壁面塗装	老朽化にともない、校舎の至る所で壁面のペンキが剥がれ劣化しています。特に防火扉は完全にはがれおちている状況です。広範囲の為限られた人数での補修は無理なので、修繕を望みます。	設備不適 環境衛生	経年劣化 その他	改修改善	校舎内
第二中	4	体育館への渡り廊下天井の修繕	体育館への渡り廊下天井にずれが生じており、雨天時には雨漏りも発生しています。倒壊の危険性と雨漏りによる廊下の滑りで生徒の安全が損なわれている状況です。	安心安全 設備不適	経年劣化 災害	改築	渡り廊下
第二中	5	西校舎2F・3Fの女子トイレの洋式設置	西校舎2F・3Fの女子トイレはすべて和式トイレです。現在の生活様式を鑑みて少数でも洋式トイレの設置をお願いします。	環境衛生	未配備	新規配備	トイレ
第三中	1	今年度要望事項なし					
第四中	1	生徒昇降口の下駄箱の改善(27年度からの継続要望)	下駄箱の幅を広くし、靴が平らに入るようにしてもらいたい	設備不適	設計問題	改修改善	玄関
第四中	2	体育館入口の段差解消。花壇付近の地面隆起解消。(27年度からの継続要望)	転倒等の事故防止のため、地面との段差を解消して頂きたい。	安心安全	経年劣化	改修改善	体育館前
第四中	3	正門から校舎にかけての路面傾斜、凹凸の改善	生徒はもとより、地域の方も利用する学校施設の主要動線に傾斜、凹凸があることは、日常及び災害時の安全確保の妨げにもなり得ることから改善を望みます。	安心安全	経年劣化	改修改善	通路
第五中	1	北校舎4階普通教室・数学室などの天井の雨漏りの修繕	3年前の雨漏りの原因究明はされており、またいつ雨漏りが発生するかわからない状態のまま。照明器具の周りに漏水の跡があり、漏電発火の恐れあり。また、天井ボードが腐食により落下の危険もある。	安心安全 設備不適	経年劣化	改修改善	教室内
第五中	2	美術室及び第二理科室の冷房化	教室を利用する生徒、教師が熱中症になる恐れあり。	設備不適	未配備	新規配備	美術室
第五中	3	普通教室の黒板の交換	特に北校舎で傷があったり、光が反射したりチョークののりが悪いなど劣化が進んでいる。これにより子どもたちの学習に支障をきたしている。	設備不適	経年劣化	改修改善	教室内
第五中	4	防火シャッターの改善	旧式で安全装置がなく大変危険。先日原因不明の誤作動を起こしている。	設備不適	経年劣化 設計問題	改修改善	共用廊下
第五中	5	英語教室のICTモニター設置	東京都のガイドラインに沿った少人数制教育を進めるにあたり、モニター数が1台不足している。	設備不適	未配備	新規配備	教室
第七中	1	西側渡り廊下屋根下部の角の改修	今のところ事例はないが、一歩間違えると大事故の危険性があるため早急な対応が必要	安心安全 設備不適	設計問題	改修改善	渡り廊下
第七中	2	西&中央昇降口扉の軽量化	鉄扉の為、手指など挟むと危険。軽量化し、一階南昇降口と同じ扉へ	安心安全 設備不適	設計問題 未配備	改修改善	昇降口
第七中	3	救助袋の設置位置の変更	現在施設してあり、緊急時に本来の機能を果たせない。	設備不適	設計問題	改築	屋上
第七中	4	冷暖房の配管(外壁部分)の補修、改善	経年劣化により、ポール等の接触や強風時の破片の落下報告あり。	安心安全 設備不適	経年劣化	改修改善	外壁部
第七中	5	流し台の改良または改修	排水の悪い流し台あり。ひび割れや、ペンキの剥離もみられる。	環境衛生	経年劣化	改修改善	流し台
第八中	1	校庭線路側フェンスの高上げ	現状のフェンスより5m以上嵩上げをしてほしい。ポールがフェンスを越えて第三者に当たる事象が発生。	安心安全	設計問題	改築	校庭
第八中	2	校庭門の防犯カメラ設置	校庭門、校庭が監視できるカメラ2台の設置。防犯上必要。	安心安全	未配備	新規配備	校庭
第八中	3	非常階段のペンキ塗替え、非常階段の防錆処置、錆で腐食した箇所の補強	非常階段の防錆塗装実施。強度的に不安があり、避難通路として使用できない。補強を行うか、全面改修が必要。	安心安全	経年劣化	改修修繕 改築	敷地内
第八中	4	屋上の防水工事の修繕及び老朽化したフェンスの改修	屋上部分の全面的な防水工事の実施。フェンスの改修。漏水の為、天井ボードが腐食し、いつ落下するかかわからないので不安。	安心安全 設備不適	経年劣化	改修修繕	屋上
第八中	5	体育館の床の全面改修及び照明の増設	体育館の床のたわみ、きしみがひどい。照明の灯数が少ないため、行事を行う際に薄暗い。	設備不適	設計問題 経年劣化	新規施工 改修改善	体育館

中野区立中学校 PTA 連合会

中学校	No.	要望事項	要望の理由	評価分類	要因	対策	要望箇所
第十中	1	特別教室（数学室・技術室・3階集会室・4階ITC室）にエアコンの設置	夏場は気温が高くなり、熱中症の危険もあることから使用ができない。是非ともエアコンの設置をお願いします。	環境衛生	未配備	新規配備	各室
第十中	2	渡り廊下の屋根からの雨漏りの調査及び改修	雨が降るとアンカーボルトを伝って雨漏りが発生する。廊下を移動する際に滑って危険であるため、原因の究明と漏水の対策をお願いしたい。	安心安全 設備不適	経年劣化	改修改善	渡り廊下
第十中	3	第一理科室にプール排水管からの水漏れに対する調査及び改修	一度業者に見てもらったところ、プールの排水管が老朽化し、水漏れが起きているとのこと。応急処置として天井内にホースを入れ、水漏れの排水を行っているが、そのホースも老朽化しているため、抜本的な対応をお願いしたい。	設備不適 環境衛生	経年劣化	改修改善	理科室
北中野中	1	西校舎特別教室のエアコン設置 (木工室、金工室、被服室、調理室)	家庭科室、技術室は直射日光が当たるため、特に夏場は室温が高くなる。26年度に生徒が熱中症で倒れた事実がある。早急な対応策をお願いしたい。	設備不適	未配備	新規配備	各室
北中野中	2	各教室の黒板改修	各教室の黒板が老朽化し、一度書いた内容がなかなか消えない黒板もある。また、サイズ的にも小さい。学習環境を整えたい。	設備不適	経年劣化	改修改善	各教室
北中野中	3	東校舎トイレ（2階男子）のドア修理、あるいはトイレ内に目隠し壁の設置	開閉の度にドアが外れるので、開いた状態で固定している。生徒から恥ずかしいとの意見もあり、中に目隠しの壁の設置か、ドアの開閉修繕をお願いしたい。	設備不適	設計問題	改修改善 改築	トイレ
北中野中	4	中央校舎トイレの悪臭を改善	トイレの排水溝から、特に夏場に悪臭が漂う。教室まで漂うこともあり、生徒は不快な想いで授業を受けている。改善をお願いしたい。	環境衛生	経年劣化	改修改善	トイレ
北中野中	5	西校舎トイレの設置	西校舎にトイレがない。北側校舎にしかない為、特に西北の角に利用が集中するので生徒が困っている。	設備不適 環境衛生	未配備	改築	トイレ
北中野中	6	教室内の改善	・ドアがよく外れて危険。 ・木製の天窓/西校舎→アルミサッシ、古すぎて落下の危険がある。 ・パーテーションが古くなり継ぎはぎだらけで汚い。	設備不適	経年劣化	改修改善	教室
北中野中	7	体育館の改修	平成26年の学校施設の調査・診断の結果では、体力度が低いランク付けとなり、首都直下地震等に対する不安が広がった。地域と共有できるような、震災時等の避難場所として安全に活用できる場所として、体育館の壁の崩落や照明器具落下防止などの改修を求めます。	安心安全	経年劣化	改修修繕	体育館
北中野中	8	西校舎のつなぎ目のひび割れ補修	大雨の時の雨漏りが心配なので、補修工事を望みます。	設備不適	経年劣化 災害	改修修繕	校舎
北中野中	9	プール及び校舎周辺の防犯カメラの設置	部活動・行事等での登下校や地域行事の際、防犯上必要不可欠である。	安心安全	未配備	新規配備	敷地内
緑野中	1	体育館天井の照明を追加又は、照度の高い照明器具へ交換	3列で17個設置されている照明の下は明るいですが、照明の無い左右の壁側の下は暗くなっている。	設備不適	設計問題	新規施工	体育館
緑野中	2	校舎～体育館の通路の屋根を、通路に雨が吹き込まないように、給食室側までの取付	激しい雨や風雨の時は、雨が通路まで入ってきて滑りやすくなり、怪我をする恐れがある。	設備不適	設計問題	改修修繕	渡り廊下
緑野中	3	屋上プールが外部から見られないよう、金網フェンスにパネルやネットの取付	地上からは見えませんが、屋上と同じ高さ以上の建物からは望遠鏡などを使用すると見られてしまう。	環境衛生	設計問題	改修改善	屋上 プール
南中野中	1	非常階段の傾き（東日本大震災の際、非常階段3F部分の校舎とのつなぎ目が5cmほど離れてしまった。その為に非常階段に傾きが生じた）	非常時に生徒が利用しても大丈夫なのか、保護者としては心配である。災害時等に安心して避難できるかどうかの検証をお願いしてほしい。	安心安全 設備不適	災害 その他	改築	非常階段
中野中	1	教室内のホワイトボードの改修	現在のホワイトボードの素材が不適合で、マーカーで書いた字をきれいに消すことができないため、ホワイトボードが黒く汚れたようになって書いた文字が見辛くなり授業に支障がある	設備不適	設計問題	改修修繕	各室
中野中	2	プールのある地階の換気設備の見直し	プールのある地階の湿気がものすごい。新設校であるが、数年後のカビや湿気による金属の劣化が懸念される。換気設備の見直しをお願いしたい。	環境衛生	設計問題	改修改善	地階

平成28年度中野区立中学校 PTA 連合会

役職	学校名	氏名
連合会長	第三中学校	荻野 嘉彦
副会長	第四中学校	長岡 知恵
副会長	緑野中学校	中尾 行夫
会計	第二中学校	金子 正美
	第五中学校	中嶋 裕之
	第七中学校	奥澤 利夫
	第八中学校	泰江 克治
	第十中学校	柴草 幹男
	北中野中学校	渡邊 肇
	南中野中学校	犬塚 重暁
会計	中野中学校	佐藤 宇一

役職	経歴	氏名
相談役	H20 連合会長,H24 連合副会長,元第八中会長	白石 忠一
顧問	H25 連合会長,元南中野中会長	照屋 宏
顧問	H23 連合副会長,H24・25 事務局,元緑野中会長	廣瀬 千史
顧問	H26 連合会長,前第十中学校会長	神山 知明
顧問	H27 連合会長,前第五中学校会長	井戸田 康敬
会計監査	H26 事務局, H27 会計監査,元緑野中会長	岡 陽子
事務局	前第八中会長	飯沼 直之
事務局	前第四中会長	保倉 由香

【編集】事業委員会

委員長 渡邊 肇
 金子 正美
 奥澤 利夫
 泰江 克治
 中尾 行夫

■本要望書に関するの問い合わせ先

中野区立中学校 PTA 連合会事務局

Tel:090-8875-7868 Mail:nakano.chupren.jimu@gmail.com